

『何のため』 作：ポチ子

君は何のために生まれてきたんだろう。

ただの偶然だとは知っているけれど、

理由があったほうがいいよね。

後付けの、ちようどいい理由。

周りの人が、

勝手につけてくれる理由。

それがあればきつと救われる。

誰も何も言ってくれないってことは、

誰からも必要とされてないってことだから。

生まれた意味がないという証明。

そんな証明はいらないんだ。

息をしているだけでいいだとか、

存在しているだけで素晴らしいなんて、

思っても無いことを言われたくない。

何か、何か理由が欲しいよね。

君が生きてていい理由。

それはきつと生まれた理由と同じ。

だから、君は、誰かに言って欲しかったんだよね。